



オンラインセミナー

いよいよ産業に応用されるハプティクス技術

慶應義塾大学 新川崎 (K2) タウンキャンパスでは、川崎市との協定のもと、産学官地域連携を目指し、多方面にわたる先端的研究を推進しています。今できること、近未来に実現できることを、課題とその解決策などについてご紹介し、参加者と共有します。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえオンライン (Zoom) で開催いたします。

2020年 **11月27日** (金) 13:30 ~ 15:30

事前申込制
無料

01

13:30 ~ 14:10 リアルハプティクス技術の産業展開

大西 公平 慶應義塾大学 特任教授
ハプティクス研究センター 副センター長



リアルハプティクスを適用することで、人間でしかできないと考えられてきた作業の自動化が視野に入ってきた。例えば、対象の変動が大きい作業や緻密で高度な経験が求められる作業はこれまで自動化が難しく、熟練作業者に頼らざるを得なかった。働き方改革を少子高齢化社会を進めていくためには製造業においてどのように自動化を進めていけばよいか、そして我が国独自のリアルハプティクス技術がどのような役割を担うのか等を論じる。

02

14:10 ~ 14:40 リアルハプティクス技術と複合現実技術を用いた 袋状食品包装の空気漏れ検査システムの開発

田中 一行 株式会社情報システムエンジニアリング
Innovation Planning & Promotion Division 専任マネージャー



スナック菓子などの袋状包装食品は、物流工程で微細な穴が開き充填されていた空気が漏れだすことがあります。工場であれば大規模な検査機器を導入してチェックできますが、多種多様な商品を扱う物流現場ではそれができないため、属人的な手作業で検査をしているのが実情です。属人的な手作業から生じる様々な課題の解決として、リアルハプティクス技術と複合現実技術を用いた作業者の熟練度やモチベーションに左右されない検査システム開発の取り組みをご紹介します。

03

14:40 ~ 15:10 AbcCore を用いたセンシングと遠隔操作

溝口 貴弘 モーションリブ株式会社 代表取締役 CEO



本セミナーでは慶應義塾大学理工学部で開発したリアルハプティクスを実装するコントローラ「AbcCore」のご説明と、技術応用として力触覚センシングによるデータ解析事例、力触覚の伴う遠隔操作での作業事例についてご紹介致します。セミナーでご紹介する装置構成例等をモデルに AbcCore のご利用イメージをもって頂ければと思います。

15:10 ~ 15:25 質問にお答えします

15:25 ~ 15:30 川崎市の取り組み 川崎市 経済労働局 イノベーション推進室

お申込み <https://www.k2.keio.ac.jp/>

QRコードよりアクセス



問合せ先 慶應義塾大学 新川崎タウンキャンパス事務局

主催 川崎市・慶應義塾大学

協力 公益財団法人 川崎市産業振興財団 川崎信用金庫

✉ k2tc@info.keio.ac.jp

f keiok2

慶應新川崎タウンキャンパス

検索